



#1 オフエンバッハ市との絆、これからも



川越市とオフエンバッハ市(ドイツ連邦共和国・ヘッセン州)は、姉妹都市提携から40年間にわたり、教育や文化などさまざまな分野で交流を重ね、両市間の相互理解と友好を深めてきました。

その一環として、オフエンバッハ市民訪問団・青少年交流団歓迎会が10月18日にウェスタ川越で行われました。当日は両市長の挨拶の後、川越藩火縄銃鉄砲保存会の協力のもと、銃兜を身に着けた同市青少年交流団の皆さんのパフォーマンスなどが行われ、終始、和やかな雰囲気ですぐに交流を深めていました。

会の終わりに、両市長・両市議会議員と姉妹都市交流委員会代表が姉妹都市提携40周年宣言に署名し、友好の絆を今後一層深めると誓いました。



昭和57年川越まつりでの両市長(当時)
クリス・ブリュンガーさん(市内在住)提供



川越まつりで山車曳き体験

#2 2年ぶりの河越流鎧馬



11月9日、国指定史跡河越館跡で2年ぶりに開催された河越流鎧馬。季節外れの台風の影響が心配されましたが、当日はまさに「秋晴れ」という爽やかな天候のもと、多くの観客でにぎわっていました。地元保存会による歓迎の民俗芸能実演の後、始まった流鎧馬行事に観客たちの目は釘付け。駆け抜ける馬が地面を蹴る音と振動に圧倒されながらも、馬上から射手が放つ矢が的を射抜くと大歓声が上がりました。大人も子どもも大興奮の時間は、あっという間に過ぎていき、演武終了後は射手と馬に惜しみない拍手が送られました。また、河越館跡にゆかりのある「河越太郎重頼」の山車人形が、今回初めて会場内に展示され、訪れた方々は皆、興味深く眺めていました。



馬場の安全を願う「扇舞之儀」



山車人形「河越太郎重頼」